

たんこう認知症の人を支える家族の会

「認知症の人や介護する家族を、地域全体で支える社会をつくりたい」と目標を掲げる「たんこう認知症の人を支える家族の会」。事務局を務めるのは、市内福祉施設に勤務する職員ら5人です。

活動のきっかけは、認知症の人を介護する家族が、悩みを抱えている状況を目の当たりにしたこと。多くの家族が、認知症を受け入れられなかったり、病気を理解しないままに介護をしたりしていました。「長寿社会で認知症の人も増えていくはず。困っている家族のために、何か役立つことができるのでは」と平成19年に会を立ち上げました。同会は、水沢区を中心に年4回ほど、認知症に関する相談会や講演会、

認知症の人を支える家族のための座談会を実施してきました。20年に、0・4%事業を活用し開催した「認知症の人を支える家族のうつ予防セミナー」には、約100人もの人が参加。また、専門家や医師を招いた講習会には、自らの認知症予防のために参加する人も増えていきます。現在の会の活動の中心は、介護者の心のケアのための座談会です。

「こんな声掛けが有効」「近所にはこんなふうに伝えるといい」といった情報交換や、事務局からのアドバイス。このちよつとしたコツで、驚くほど介護をしやすくなることがあるそうです。「頑張っているね。悩みは一緒だよ」と優しく声を掛けられて「やっと気持ち打ち明けられた」

と安堵し涙ぐんでいた参加者も、帰り際には笑顔が見られました。両親を10年ほど介護した50代男性は「自分も地域も認知症に対する認識がまだ浅い。介護が続くと、自分が無理をしていることにも気付かなくなる。同じ境遇の人に気持ちを話して救われることも。出過ぎずにアドバイスをくれる、見識のある事務局の存在は大きい」と語ります。座談会は、介護者が参加しやすいよう予約不要、会費無料です。認知症を学びたい人、家族の介護で悩んでいる人は一度参加してみてください。■たんこう認知症の人を支える家族の会（菊地☎090-1974617307、FAX☎0823）



「認知症の人を支える家族のうつ予防セミナー」には大勢が関心を寄せました

interview



たんこう認知症の人を支える家族の会 事務局
佐藤 賢勇さん (33)

市内の福祉施設に勤務しています。行政の支援情報や、認知症の人への対応のコツなどをアドバイスしています。参加して前向きになった人の感謝の声に「役立てた。活動して良かった」と感じます。職場では役割もあり、できることに制限がありますが、生の声を聞くことで自分も介護福祉士としてスキルアップできると考えます。



会員
水沢区太日通り
長谷川 トヨさん (79)

認知症の家族を介護する苦労は人それぞれですが、体験しないと分からないことも多くあります。怒ってしまうと自分も落ち込み、倍の反応で返されてしまうので、一歩下がって感情的にならないように努めました。会に参加して、介護者が家にもってしまわないように「何かあったら教えて」と言える社会になってほしいと感じます。

座談会では、経験から得た助言などがやり取りされていました



NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎FAX☎4200）までお問い合わせください。

●出会い応援事業

日時：1月26日☎ 午後1時半～3時半
場所：奥州市民活動支援センター（メイプル地下）

内容：日々変化する結婚を取り巻く課題の掘り起こしと解決事例の学習会です。どなたでも参加できます

問い合わせ：奥州・いわてNPOネット（☎☎4200）

●NPOステップアップセミナー

日時：1月28日☎

午前10時～午後3時15分

場所：岩手県奥州地区合同庁舎分庁舎

内容：①情報発信・広報力向上セミナー（チラシ作成や情報ツール活用）②ホームページ・ブログ講座 ③運営（労務・経理）セミナー

申込期限：1月25日☎

問い合わせ・申込先：NPO法人いわてNPOフォーラム21（☎019-605-8271、FAX019-652-9077）

●第1回みちのく馬検定

日時：2月11日☎

場所：メイプル4階ホール

内容：馬っこトーク（午後1時半～2時半）、第1回馬検定（午後3時～3時45分）。馬事文化を後世に語り継ぐための「馬検定」と、ふじボンとドクター松尾氏によるトークショーです。

検定料：1,000円

検定申込期間：1月25日☎～2月5日☎

問い合わせ・申込先：NPO法人奥州おもしろ学（☎☎2100、FAX☎2101）